

ETL 処理

企業の基幹システムなどに蓄積されたデータを抽出(extract)し、データウェアハウスなどで利用しやすい形に加工(transform)し、対象となるデータベースに書き出す(load)こと。また、これら一連の処理を支援するソフトウェア



■ 目的

- 基幹システムからのデータ抽出・加工に要する時間を短縮する
- 現行 AIX system での処理をコスト性に優れたグリッド環境に移行

■ チャレンジ要素

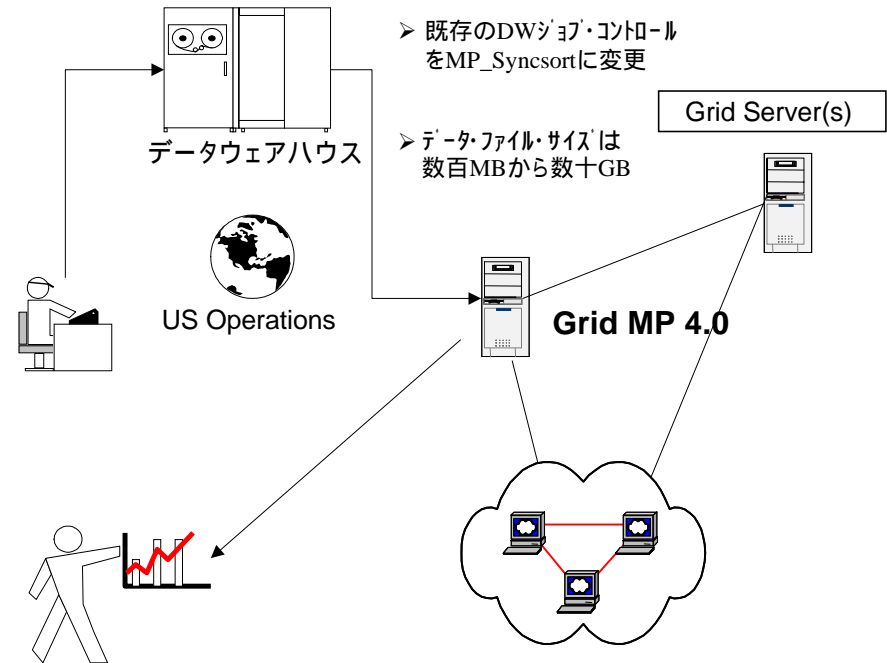
- 現在使用している商用ツールを用いてインテグレーションすること (Control-M 及び SyncSort)
- 大容量のデータファイル (10 - 40GB)

■ ハイライト

- アプリケーション・サービスはAIX上で稼動
- 地理的に分散されたファイル・サーバ群
- 処理性能を2倍以上に向上

■ 現在の運用

- Grid MP を数千台の計算機で運用中
- 5 ~ 7日を要していた処理を一晩で処理可能に



データ解析が従来の1/2の時間で完了